

【2024 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
公認心理師の職責	HSP32-012	選択	2	3	前期
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
高田 毅	B301	t.takada		火曜日 12:10~13:00	
授業の目的・概要	<p><目的>公認心理師の職務上の責任・倫理を理解すること、公認心理師としてのアイデンティティの形成が目的である。臨床心理士との違いを理解し、専門家としての基礎知識を身につけることが目標である。 <概要>対面授業で展開する。事例などを用いながら、ディスカッションやミニワークなどを通して体験を深める。具体的に自分ならどう考えるかを言葉にし、比較対照しながら理解を深めていく。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技				
	<input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・レポート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	発言を求めながら進めるので、積極的に参与すること。 講義中の質問・疑問・関心・感想はその都度発言し、授業内で消化すること。 体験は人それぞれなので、自分の固有の体験に正直になり、学びにすることが重要である。				
教科書	必要に応じてプリントを配布する。				
参考書	公認心理師の基礎と実践 第1巻 公認心理師の職責/編:野島一彦/遠見書房 心理職の専門性—公認心理師の職責—/著:吉川眞理・平野直己/放送大学教育振興会				
外部教材	なし				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	公認心理師としての責任を理解し説明できる。			HC(2)、HC(4)	
②	公認心理師としての具体的な業務を理解し説明できる。			HC(3)、HC(5)	
③					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーションを行う。公認心理師の職責の全体像を理解する。臨床心理士について学ぶ。	講義・演習	受講の意志を明瞭にする。授業後にコメントシートを提出する。	2	
2	公認心理師の役割について学ぶ。	講義・演習	事前にレジメを読み、授業後にコメントシートを提出する。	4	
3	公認心理師の法的義務・倫理について学ぶ。	講義・演習	事前にレジメを読み、授業後にコメントシートを提出する。	4	
4	心理に関する支援を要する者等の安全の確保について学ぶ。	講義・演習	事前にレジメを読み、授業後にコメントシートを提出する。	4	
5	情報の適切な取り扱いについて学ぶ。	講義・演習	事前にレジメを読み、授業後にコメントシートを提出する。	4	
6	保健医療分野における公認心理師の具体的な業務について学ぶ。	講義・演習	事前にレジメを読み、授業後にコメントシートを提出する。	4	
7	福祉分野における公認心理師の具体的な業務について学ぶ。	講義・演習	事前にレジメを読み、授業後にコメントシートを提出する。	4	
8	教育分野における公認心理師の具体的な業務について学ぶ。	講義・演習	事前にレジメを読み、授業後にコメントシートを提出する。	4	
9	司法・犯罪分野における公認心理師の具体的な業務について学ぶ。	講義・演習	事前にレジメを読み、授業後にコメントシートを提出する。	4	
10	産業・労働分野における公認心理師の具体的な業務について学ぶ。	講義・演習	事前にレジメを読み、授業後にコメントシートを提出する。	4	
11	支援者としての自己課題発見・解決能力について学ぶ。	講義・演習	事前にレジメを読み、授業後にコメントシートを提出する。	4	
12	生涯学習への準備について学ぶ。	講義・演習	事前にレジメを読み、授業後にコメントシートを提出する。	4	
13	他職種連携と地域連携について学ぶ。	講義・演習	事前にレジメを読み、授業後にコメントシートを提出する。	4	
14	公認心理師の今後の展開について学ぶ。	講義・演習	事前にレジメを読み、授業後にコメントシートを提出する。	4	
15	まとめとフィードバックを行う。	講義・演習	全体の学びをまとめる。授業後にコメントシートを提出する。	6	
試	レポート試験 達成度評価・評価のポイントを参照				

【2024 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	70	0	0	30	
総合力指標	知識・技術力	0	10	0	0	10	20
	思考・推論・創造する力	0	10	0	0	0	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	10	0	0	10	20
	コミュニケーション力	0	10	0	0	0	10
	取組みの姿勢・意欲	0	10	0	0	0	10
	問題を発見・解決する力	0	20	0	0	10	30
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	理解度を問う応用問題などから構成される。知識を用いて思考、表現ができているかどうか、学生固有の体験から学ぶことができているかを評価する。また、具体的に丁寧に書かれているかどうかを評価する。				レポートを返却し、解説とフィードバックを行う。
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	毎回の授業後にコメントシートを記入する。具体的に丁寧に書かれているか、自分の日常の体験と繋いで理解できているかを評価する。 (2点×15回=30点)				コメントシートに教員がコメントを加えて返却する。必要に応じて次回の授業で補足する。
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	なし						
教員の実務経験	臨床心理士として16年、公認心理師として5年の臨床経験を有する。						
実践的授業の内容	ミニワークを数多く取り入れ、ディスカッションを軸に授業を展開する。その際にグループセラピーの技術を応用する。個人情報に配慮しつつ、事例などを用いて体験から学ぶことを促す。						
そ の 他	生成 AI (ChatGPT 等) を使用した課題作成は認めない。発見した場合は、評価を減じる。公認心理師資格習得希望者は必ず履修すること。 授業に参加し、自ら学ぶことが求められる。その点を理解の上受講すること。 大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は対面授業の参加を認めない。 尚、今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によって再度シラバスの変更が行われることもある。						

